



みそのだより

令和7年6月30日
学校だより7月号
板橋区立三園小学校
みどりの学びのエリア

合い言葉『生き生き 学びの三園小』

かかわりを通して豊かな心を育む

校長 和田 幹夫

梅雨入りはしたものの真夏のような厳しい暑さが続いています。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

早いもので1学期も残り三週間、まとめの時期となりました。学年はじめに立てた自分やクラスの目標について、これまでの努力を振り返りながら、学習、生活のまとめを充実していきたいと思ひます。

さて、6月は「ふれあい月間」として、豊かな心を育み、いじめや不登校の未然防止等の充実を図るため、学年や学級で様々な取り組みを進めてきました。

1年生は、生活科で公園探検に出かけました。広い公園で友だちと遊ぶ中で、みんなで遊ぶ楽しさを実感したと思います。それとともに、様々な人たちが使う公共施設の中で、どのように利用したらよいのか、考えるきっかけにもなったと思います。2年生が育ててきたミニトマトや野菜がたくさん実をつけてきました。大切に実を穫り、持ち帰る姿は、小さな生命や、家で待つ家族を思う優しさにあふれていました。3年生は、地域にある株式会社トーコネの工場見学に行きました。工程に沿ってコネクタという部品が作られていく様子や真剣に働く人の姿から、ものを作る仕事と自分たちの生活とのつながりを感じ、自分たちのまちや働く人々への関心も高まったと思います。また、総合的な学習の時間で身近な環境についても調査をしています。4年生は、下水道キャラバンで学んだり、三園浄水場へ見学に行ったりして、上下水道やそれに携わる人々の働きについて学びました。その中で、自然環境の大切さ、社会の一員としての意識を深めていました。5年生の家庭科では裁縫の学習が始まりました。その中で、早く終わった人が、困っている人にアドバイスをするなど、自然に学び合いが広がっています。6年生は、18～20日、1年生が心を込めて作ってくれたかわいらしい“てるてる坊主”といっしょに日光を訪れ、自然や伝統文化、そして友だちとのかかわりを深めてきました。あわせて、感謝の気持ちや、最高学年の意識も高まった三日間でした。

この他、全学年で音楽鑑賞教室を実施し、音楽の美しさや楽しさを思い切り味わいました。また、月後半は読書週間として、読書を通して豊かな心を育むとともに、読書郵便を通して異学年との交流も深めてきました。

人を思いやる心、生命を大切に作る心、誰かのためにがんばる充実感、まわりの人の役に立ったり、友達から認められたりする喜び、力を合わせて一つのことに取り組むすばらしさや楽しさなどの、豊かな心は、「人や自然とのかかわり」を通してこそ、育まれていくものだと考えます。7月も様々な人々や自然、社会とかかわりながら学びを深め、心を育んできたいと思ひます。

かけがえのない尊い生命を守る

夏休み直前の7月、子どもたちが安全に充実した毎日を過ごすことができるよう、本校では、以下の二つの取組を実施していきます。

まず一つは「生命(いのち)の安全教育」です。性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しくふみにじる行為であり、心身に対し長期にわたり重大な影響を及ぼすものです。子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者に絶対にならないように全学年で実施します。自分だけの大切ところを知り、自他を守るためのルールや、それが守られないときの対応方法、SNSを使うときの注意などについて、学年の段階に応じて学んでいきます。

なお、デリケートな内容でもありますので、配慮が必要な場合は担任までご連絡ください。

1年～4年…＜内容＞「自分の体」も「他の人の体」も大切。自分だけの大切なところ。いやな気持ち。

5・6年…＜内容＞自分だけの大切なところを知る。自分と他の人を守るためのルール。自分と他の人との距離感が守られないときの対応方法。SNSを使うときに気を付けること。

もう一つは、「SOSの出し方教育」です。不安や悩みを自らの心に抱え込んでしまうと、大きないじめや長期間の欠席、生命に関わるような問題につながってしまうこともあります。できるだけ早い内に自分の不安や悩みに気づき、周りの信頼できる大人にSOSを発する力を、6年間を通して育んでいきます。

